

令和元年度 第2回大豆島公民館運営審議会会議録

- 1 日 時 令和2年3月2日（月） 午後1時30分から3時まで
- 2 場 所 大豆島公民館 視聴覚室
- 3 出席者 北村 清人（前大豆島地区住民自治協議会会長）
倉島 富士子（大豆島地区更生保護女性会会長）
小池 伸幸（大豆島保育園園長）
玉井 久志（大豆島公民館副館長）
轟 保則（大豆島地区民生委員児童委員協議会会長）
中澤 和男（大豆島地区住民自治協議会会長）
西沢 節（学識経験者）
山崎 ひろ子（大豆島地区赤十字奉仕団委員長）
高池 一昭（市立大豆島公民館館長）
白石 洋一（市立大豆島公民館係長）
（久保田委員は欠席）

4 審議事項

- (1) 令和元年度大豆島公民館事業報告について
(2) その他

5 審議内容

長野市立公民館条例第15条の規定により、委員の過半数の出席を満たしており審議会は成立していることを報告して開会した。

(1) 令和元年度大豆島公民館事業報告について

事務局（令和元年度大豆島公民館事業報告について事務局から説明）

委員 子育て支援事業（まめっ子ふれあい広場、まめっ子サロン）を始めた頃は地区外からの参加が多かったが最近では地区内からの参加も増えてきた。参加している若い母親からは「もっと子どもと一緒に参加したい」という感想があり、若い母親同士で交流できる場所を求めている。乳児も参加でき、子ども同士の友達もできたりして大事な事業になっている。

委員 母親のストレス発散の場にもなっている。

委員 自由遊びの時間など参加者同士で交流できる時間もある。更生保護女性会の会員からも積極的に参加者に声かけをしている。アパート暮らしの人は子供の泣き声など近所迷惑になるので、広い場所で交流できるのがよい。

転勤で大豆島地区にきたので参加してみたという人や、チラシやSNSで調べて参加したという人もいる。大豆島公民館は駐車場が広いが、地区外の人にとって場所がわかりづらいようだ。道沿いにわかりやすい案内看板でもあれば

よいが。

希望する保育園や幼稚園に入園できないという声をよく聞く。最近は事業を始めた頃よりも小さい子どもが多い。

委員 入園に際して保育園に決定権はない。市が優先順位を決めている。

委員 子育て支援事業は交流の良い事例。今後も続けてほしい。

委員 公民館として「大豆島甚句でご当地体操」をもっと広めていきたいということか。

事務局 そのとおり。

委員 ご当地体操をやってみたが難しかった。高齢者には適度な運動だが若者には物足りないかも。

委員 ご当地体操を広めるために、振付を収録したDVDを大豆島の各地区に配布してはどうか。

委員 小学生に広める場合、ある程度、地区で広めてからではどうか。段階的に計画を練ってほしい。

委員 大豆島甚句保存会はご当地体操について了承しているが、地区の年配者の中には、ご当地体操が広まることで本家の大豆島甚句の振付が崩れてしまうのではないかと心配する人もいた。本家の大豆島甚句をしっかりと継承していくべきだと言っていた。

委員 ご当地体操が広まると色々な意見が出てくるので、広報活動と併せて検証していくことが必要。

委員 びんずるでも踊りをアレンジしすぎている連があつて気になった。

委員 「甚句の日いらっしや〜い」は月1回と言わず、各地区でご当地体操を指導できるインストラクターを育成して取り組んではどうか。また、ご当地体操を何かの催し物とセットでやれば徐々に広まっていくのでは。

委員 先ほど地区の年配者の意見が紹介されたが「甚句は甚句、ご当地体操はご当地体操」として広めていけばよいのではないか。

(2) その他

事務局 (成人式検討会議と交流センターのモデル試行について事務局から報告。)

委員 成人式を18歳で行うのは個人的にはまだ早いと思う。選挙権は18歳でもよいと思うが区別をどうするか。

委員 18歳は受験などで忙しい。20歳ならば友人や恩師との再会を喜ぶという楽しみもある。成人式は今までどおり20歳でよいと思う。

委員 成人式を地区ごとに行っているのはよいと思う。市全体でやることになれば地域の特色や交流がなくなってしまう。